

遠野市監査委員告示第7号

平成29年5月25日

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく工事監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員	佐藤	サヨ子
遠野市監査委員	佐々木	資光
遠野市監査委員	瀧本	孝一

平成29年度工事監査結果報告書（平成28年度施工分）

1 監査の期日及び対象

平成28年度に施工した市営建設工事について、書類監査は平成29年4月20日、24日、26日の3日間、現地監査は下表の日程で3日間、延べ6日間実施した。

期 日	工 事 名	請負金額	担当課（依頼先）
5月9日	遠野ふれあい交流センター客室ドアノブ改修工事	4,903,200円	市民協働課
	遠野ふれあい交流センター自動火災報知設備・感知器及び誘導灯更新工事	17,820,000円	
	遠野ふるさと村入口案内看板改修工事	4,131,000円	商工観光課 (都市計画課)
	重要文化財千葉家住宅第1期保存修理工事 (平成28年度分)	25,087,320円	文化課
5月12日	遠野風の丘駐車場改修工事	18,688,320円	地域開発戦略推進室
	市道熊の洞線改修工事	7,037,280円	
	(仮称)宮守中心市街地活性化センター改修(第2期)工事	145,692,000円	環境整備部 まちづくり再生担当
5月15日	柳玄寺橋改修工事	24,001,920円	建設課
	琴畑川災害復旧工事(少額工事)	1,245,240円	
	琴畑下の橋線災害復旧工事(少額工事)	1,296,000円	
	一の渡琴畑白見線災害復旧工事(少額工事)	1,288,440円	

書類監査のみ

—	遠野市本庁舎建設工事	2,099,900,160円	環境整備部 まちづくり再生担当
	耐震性貯水槽設置(涌水工区)工事	7,030,800円	保安施設課 (建設課)
	石羽根地区水路災害復旧工事(少額工事)	1,026,000円	建設課
	石羽根大袋線災害復旧工事(少額工事)	1,296,000円	

2 監査の内容

工事の施工に係る事務執行の状況及び現地確認

3 監査の手順

(1) 請負金額が300万円以上の工事79件の概要について担当課長等から資料の提出を求め、そのうち10件(内2件は書類監査のみ。)を監査対象とした。更に請負金額が130万円未満の災害復旧工事(単独)5件(内2件は書類監査のみ。)も監査対象とした。

(2) 事前監査として、監査対象工事に係る設計図書、契約書、施行状況その他の関係書類の提出を求めて書類監査を行い、疑義その他不明な事項については現地監査の前に担当課長等に説明を求めた。

(3) 現地において工事施工担当者等から説明を聴取し、工事の施工状況を確認した。

4 監査の結果

工事に係る契約その他の関係書類の事務処理において、契約書・下請注文請書の印紙誤り（過大1件、過小1件）及び建設業退職金共済組合証紙購入（不購入理由）報告書などの書類不備が5件あった。これらに関しては、その都度関係職員に対して口頭等で指摘をし、不備は改善された。今回の監査対象以外の工事においても、前記のような書類不備が無いよう再度確認を行うとともに、今後の書類整備に万全を期されたい。

なお、施工状況については、工事主管課等の工事監理のもと、設計図書、仕様書等に基づき必要な検査等も実施され、おおむね良好に施工されているものと認められた。

今後とも、契約書特記仕様書等に定めている事項の書類整備について確認を行うとともに、工事の設計及び施工にあたっては、一層の技術向上、経済性、安全性に配慮し、かつ請負者への指導も含めた適正な施工管理を期待する。

監査対象工事ごとの監査の結果については、次のとおりである。

○遠野ふれあい交流センター客室ドアノブ改修工事

遠野ふれあい交流センター自動火災報知設備・感知器及び誘導灯更新工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

施設設備が経年変化により不具合等の発生がみられることから、客室 62 箇所のドアノブを磁気式差し込み型からタッチ型に、また自動火災報知設備 1 式、感知機 364 箇所、誘導灯 67 箇所を更新した。今回の工事により利用客の安心安全面や利便性の向上が図られたものと認められ、今後も計画的なりニューアル工事等により「永遠の日本のふるさと遠野」における交流拠点として、中心市街地のランドマーク「あえりあ遠野」の存在感が更に高まることを期待する。

○遠野ふるさと村入口案内看板改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成 8 年にオープンした遠野ふるさと村施設入口前の県道土淵・達曽部線沿いに設置していた木製案内板の腐食等が進んでいたことから、耐食アルミ製の案内板を設置し併せて周辺樹木の伐採を行うことで、双方向からの視認性が向上した工事と認められる。

本年 4 月に入場者が 100 万人を達成した当施設に更に多くの観光客が訪れるよう、引き続き必要な整備が行われることを期待する。

○重要文化財千葉家住宅第1期保存修理工事（平成28年度分）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成19年に重要文化財に指定された、千葉家住宅の第1期工事（H28.6.20～H32.1.8）の中で、平成28年度はハセ小屋、納屋の解体工事や仮設鉄橋及び解体部材の保存小屋設置などが行われていた。平成31年度までに建物の解体と石垣の一部組み直しを行い、同年度途中から順次解体した建物の組み立て工事を実施していく計画である。

長期間にわたる工事であることから工事上の安全面に配慮するとともに、一般公開できない工事完了までの間も遠野郷の象徴的施設である「千葉家の存在価値」をアピールするための対策を商工観光課との連携により検討することを望む。

○遠野風の丘駐車場改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

全国モデル「道の駅」に選定された遠野風の丘について、東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通を視野に入れ、本格的改修構想を踏まえながら既存駐車場の一部改修及び暫定退出路整備、第二駐車場造成などを行うことで、従前に比べ混雑渋滞時の緩和や利用者の安全性、利便性は数段向上したと認められる。

なお、監査中に駐車場内の出入り口付近で逆走車があったことから、特にも高齢ドライバー向けの通行方法に関する注意喚起の手段、方策についても引き続き検討されることを望む。

○市道熊の洞線改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この工事は、誘致企業への通勤道である市道の勾配がきついため、路面凍結時への対策として滑り止め舗装 $A=446\text{ m}^2$ 、落蓋式側溝設置 $L=38\text{m}$ などを施工したものであり、企業従業員の通勤や地域住民の交通安全が図られたと認められる。

ただし、当該年度の積雪凍結時前に共用開始できるように工事発注等すべきであったと考える。また急傾斜道路への「滑り止め舗装」は市内初とのことから今後の同様の工事やメンテナンスに備えて、定期的な路面状況のチェック、不具合発生の有無などのデータ収集が必要と思われる。

○（仮称）宮守中心市街地活性化センター改修（第2期）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

宮守町中心市街地活性化センターとして、「銀河鉄道の夜」の世界観を表現した展示、図書コーナー、宮澤賢治の資料展示、観光情報コーナーなどが整備され、観光客の誘致や地域住民の交流の場としての活用が期待される工事であると認められる。「永遠の日本のふるさと遠野」の西の玄関口にあたる施設としての注目度を保ち続けるために、道の駅・直売所・ホームマートと連携を取りながら、利用者のニーズをきめ細かく捉え、今後の施設運営が行われることを望む。

○柳玄寺橋改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

大工町の来内川にかかっている歩行者専用の木橋で、平成28年5月に橋桁の一部が破損したため通行止めにしていたが、地元と協議を重ね、従来と同様の木橋（L=30m）として架け替えたもの。

遠野産材に薬品を注入し長寿命化を図るとともに、周囲の環境とよく調和した工事であり、近くに墓所がある伊能嘉矩生誕150年に合致した改修であることから、関係課が連携して、博物館・図書館方面から寺町を結ぶ散策ルートとしてPRすることも重要と思われる。

○琴畑川災害復旧工事、琴畑下の橋線災害復旧工事、一の渡琴畑白見線災害復旧工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年8月の台風10号によって甚大な被害を被った琴畑川流域の河川・橋梁・道路の被災箇所の緊急的処置として行われた少額工事3件である。被災地域住民の安心・安全の確保に必要な復旧工事であると認められる。

【書類監査のみ】

○遠野市本庁舎建設工事

○耐震性貯水槽設置工事（湧水工区）

○石羽根地区水路災害復旧工事

○石羽根大袋線災害復旧工事

〔指摘事項〕

特になし